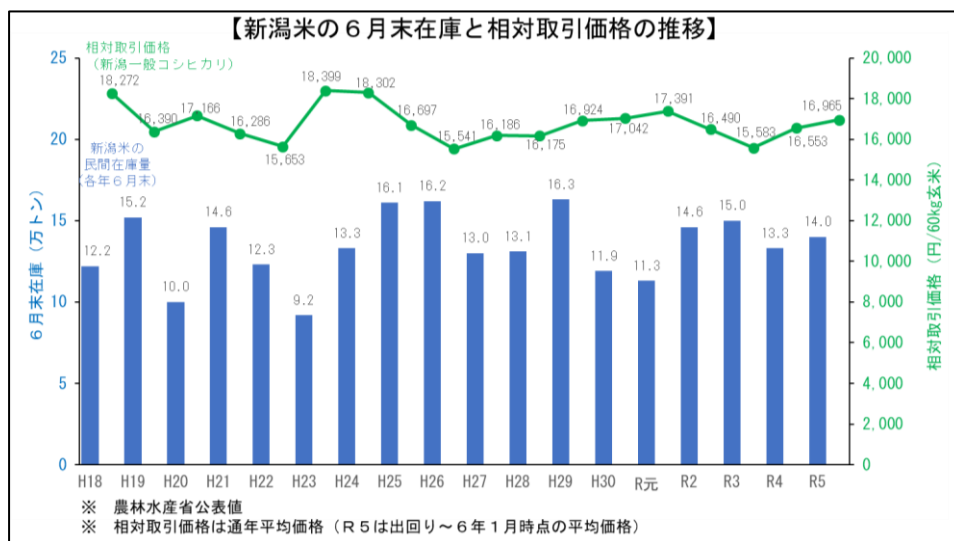


令和6年産の需要に応じた生産に向けた今後の取組

1 新潟米の価格と在庫の状況

- 全国的には主食用米からの作付転換が一定程度図られ、新型コロナの影響による過剰在庫が解消されつつあり、米価が上がっている。一方で、新潟米は物価高騰等の影響で高価格帯米の販売が苦戦し、令和5年6月末在庫量は前年から7千トン増の14.0万トンと適正在庫量（年間需要量の2.5か月分）を上回り、米価が下落してもおかしくなかったこともあり、全国の他銘柄ほど米価は上がっていない。
- また、1月末の作付意向では、5年産では主食用米が増加傾向の都道府県は無かったものの、6年産は北海道など5道県で主食用米が増加傾向となっており、5年産のように全国の需給が締まるとは限らないので、6年産の新潟米が過剰作付となれば、米価に影響を与える。



出回り～6年1月時点の相対取引価格

全国全銘柄平均
15,283円/玄米60kg (4年産比 110%)
新潟一般コシヒカリ
16,965円/玄米60kg (4年産比 102%)

【水田における作付意向（令和6年1月末時点）】

		主食用米	加工用米	新市場開拓用米	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	麦(基幹作)	大豆(基幹作)	備蓄米	
全国	6年産意向(1月末)	前年より増加傾向	5県 〔0県〕	17県 〔15県〕	19県 〔18県〕	17県 〔16県〕	3県 〔11県〕	18県 〔20県〕	17県 〔23県〕	5県 〔16県〕	2県 〔6県〕
		前年並み	30県 〔35県〕	18県 〔27県〕	17県 〔18県〕	22県 〔24県〕	17県 〔25県〕	23県 〔21県〕	16県 〔14県〕	19県 〔15県〕	10県 〔22県〕
		前年より減少傾向	11県 〔12県〕	8県 〔2県〕	1県 〔3県〕	5県 〔5県〕	25県 〔10県〕	4県 〔4県〕	11県 〔8県〕	20県 〔14県〕	18県 〔5県〕

2 今後の取組

- 県生産目標を実現し、安定的な米価水準とさせるため、地域農業再生協議会や方針作成者と連携し、特に5年産に主食用米を増加させた農業者等に対して、重点的に推進を図る。
- 需要のある非主食用米の取組拡大を図る。特に産地交付金県設定で支援を強化した、新市場開拓用米やWCS用稲等、作付拡大がより期待できる作物の作付けを推進する。